

Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

Vol.116



きりく・ハンドベルアンサンブル

きりく・ハンドベルアンサンブル 大坪康子一問一答

鳥の劇場 にほんの「古事記」 『古事記』／『古事記は歌ふ』

オルガンとその仲間たちシリーズ2014

イタリア・バロックの魅力～イタリア古典歌曲集のふるさとをたずねて～



オルガンとその仲間たちシリーズ2014
イタリア・バロックの魅力



撮影:中島伸二

鳥の劇場「古事記」(2014年)

メディキット 県民文化センター

公益財団法人 宮崎県立芸術劇場



クリスマスイブの思い出

40年余り前、NHK京都局での新人時代のクリスマスイブの思い出です。まだテレビの番組を担当できず、その夜も私は深夜までラジオ番組のテープ編集を一人でやっていました。真夜中に近い頃でしょうか、外線電話の音が鳴り止まなくて作業を中断、受話器を取りました。夜の電話対応は泊まりのアナウンサーの役目でしたが、姿が見えませんでした。

「君ね、美空ひばりをどう思ってるかね？」という問いかけの声は、中年のしかも社会的立場のありそうな男性、少々酔っているようでした。その年、美空ひばりさんが身内の不祥事で紅白歌合戦出場を辞退し大きな話題になっていました。案の定、何故ひばりさんを出場させないのか、彼女抜きの紅白は意味がない、受信料を払う国民の気持を考えろ・・・といった抗議が延々と続きました。

30分もたったでしょうか、私はそれまでの我慢が切れたようです。「あなたね！世の中にはもっと大事なことがあるでしょう。公害もあればベトナム戦争もある。一人の歌手が紅白に出る出ないということを世界の一大事のようにおっしゃるのは理解できません」と強い口調で答えてしまいました。しばらく間があって、怒りを抑えた口ぶりで「よし！わかった。君の名前を言え！」と言われ、伝えると電話は切れました。

風呂に入っていたというアナウンサーが戻っていて、彼に相手の言い分をかいつまんで伝え、相手の名前に触れると、「それはまずい。その方はしょっちゅう番組に出ている出演者だよ」と苦い顔をしました。京都NHKは文化・教養系のテレビ番組を多く制作していて、電話の相手はその常連の文化人でした。駆け出しの私がそういう方であることを知らずに対応したことも怒りに火をつけたのかもしれません。

しょげかえった私を気遣ったのか、そのアナウンサーが差し入れに貰ったというクリスマスケーキをくれました。もう電車もバスもない深夜の道を、ケーキの箱を抱えながら小一時間、アパートまでとぼとぼ歩きました。イブの夜なのになあと思いながら…。翌日、お詫びに行ったという局長に呼ばれました。「元氣な若者がいいねと言われたよ。この件は気にしないでいいが、これから電話でやりとりする時は、相手の氏素性を確かめてからにしない」と忠告されました。

さて今年、劇場に来て初めてのクリスマスはどんなものになりますか。12月23日には「きりく・ハンドベルアンサンブル」のコンサートが予定されています。日本最高峰の演奏者の方達が、手のひらに入る小さいサイズから5～6キロもある大きなものまで60個あまりのハンドベルを駆使し、クリスマスソングを中心に演奏します。その中に、今年の音楽祭・名曲コンサートのアンコールで拍手喝采を浴びた、ピアソラの「リベルタンゴ」が入っていて、私はその演奏を今から楽しみにしています。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事長 **佐藤寿美**

一 問 一 答

大坪泰子
TAIKO OTSUBO

きりく・ハンドベルアンサンブル主宰。
ハンドベルの既成概念を次々に覆す第一人者。世界初のハンドベルによるカーネギーホール公演、大統領夫妻の招待によるホワイトハウスでの演奏会なども行う。国内外で人気を博し、ウィーンフィルのトップメンバー達と共演するなど欧州でも活躍。TVにも「題名のない音楽会」「徹子の部屋」NHK「おはよう日本」等数多く出演。



「きりく」の名前の由来は？

古代インドで使われていたサンスクリット語で千手観音。エストニア語で教会という意味です。



メンバーについて教えてください。

最初は音楽関係の会報誌で募集しました。あとは、ご縁でしょうか。もともとは打楽器やピアノなどを専門としていた奏者達にハンドベルを一から教えました。



ハンドベルの音色をひとことで表すと？

Divine vibration (神聖なる波動)



コンサートで用意するハンドベルの数は？

ハンドベルは150個程度。クワイアチャイム70個程度です。
*クワイアチャイム…アルミ合金の棒状に、ゴム製の丸いハンマーが付き、振って音を出す楽器



1人で使用するベルの数は？

曲やパートにより変わります。基本6～8人で5オクターブ半なので平均8～10個位ですが、編成によってはもっと多くなります。



一番軽いベルと、一番重いベルの重さは？

日常的によく使う範囲では0.5～5kg程度。もっと重い低音(8kg以上など)もありますが…。



ベルの割り振りは、どのように決めていますか？

パズルと同じように、まず直感と論理であたりをつけ、あとは地道に細かく解いていきます。



ベルの大きさによって得意・不得意があるものですか？

多少はありますが、パート配分は、本人の志向、タイプ、曲ごとや曲順によっても考えています。



ハンドベルの魅力を3つ挙げてください。

- ・魂に直接響く音色。
- ・音が見える。目でみても楽しめる音楽。
- ・複数の人間で繊細な音楽表現をする難しさが、そのまま面白さでもあります。

きりく・ハンドベルアンサンブル主宰

一問一答

大坪泰子さんに聞く！

人の心の一番美しい部分にアクセスしたいと思います。



ハンドベルで、喜びを感じるのはどんな時ですか？

良い響きを得られた時。会場が一体となり繋がった時です。



演奏する上で、気をつけていることを教えてください。

音を響かせるのは、宇宙にエネルギーを発信しているのと同じです。発信するエネルギーに責任を持ちたいと思っています。



アメリカでもツアーをされていますが、その時の反応はどうでしたか？

慎み深い日本人の喜び方とは一味違い、感動をオープンかつ派手に表現して下さるので、お客様の盛り上がりが分かりやすいです。



これまでの活動の中で、心に残っているエピソードがあれば1つ教えてください。

例えば、海外での演奏のあとには、胸を押さえ黙ってこちらを見つめて鎮いて涙を流していくような方達がいらっします。また、養護学校で、「普段は音を拒絶している子ども達がじっと聴き入っていたのでびっくりした」と先生方が仰有っていました。誤魔化しの効かない言葉を超えたエネルギーの繋がりに感じると共に、自分や発信するものを常に磨いて純化しておかねばと思っています。



今後の活動の目標や、将来の夢をお聞かせください。

人の心が現実化してこの世を作っているのであれば、私も人は人の心の一番美しい部分にアクセスしたいと思います。音楽には楽しさとともに祈りの要素があります。その両方が届くよう、人々や世界ともっともとかかわりながら、さらに美しい響きや新鮮な感動を見つけていきたいです。



今回のプログラムの聴きどころなど、コンサートを楽しみにしている皆さんへメッセージをお願いします。

宮崎は初めての地ですので、私どもがよく演奏している定番曲を中心にプログラムを組んでみました。皆様をご存知の曲も多いと思いますので、どうぞリラックスして響きに身を任せ「体感」してみてください。そして、耳だけでなく目でも楽しめる楽器ですので、ぜひ音の動きを実際に観にいらして下さい。皆様と響きあうことを楽しみにしております。



きりく・ハンドベルアンサンブル

公演情報

きりく・ハンドベルアンサンブル

12月23日(火・祝) 開場13:30 開演14:00

【出演者】きりく・ハンドベルアンサンブル

【曲 目】アダン：オー・ホーリーナイト
坂本龍一：戦場のメリークリスマス
ピアソラ：リベルタンゴ ほか

【会 場】イベントホール

【入場料】全席自由
一般 3,100円 [会員2,800円]
学割(小学生～大学生) 1,500円
親子割(小・中学生と保護者の2人1組) 3,700円
※前売りのみ

★プレイベント情報★ 急遽決定！

※詳細は決まり次第、劇場HPでお知らせします。

公演前日の12月22日(月)は、きりく・ハンドベルアンサンブルのミニコンサートを、フローランテ宮崎で開催！(時間未定) イルミネーションの中で奏でられるベルの響きは、クリスマスの雰囲気にとってぴったりのです。ぜひお気軽にお越しください。

『古事記』 構成・演出：中島諒人

古代から現代につながる物語

奈良時代に書かれたとされる古事記は、上つ巻（序文を含む）、中つ巻、下つ巻の3つで構成されており、「天地の初めて発けし時 高天原に成れる神 名は天之御中主神」から始まる、天上界（高天原）と地上界の誕生から、推古天皇までの時代を記述した歴史書です。宮崎で生活する私たちにとっては、「竺紫の日向の高千穂」への天孫降臨や日南の鵜戸神宮にゆかりのある海幸彦・山幸彦神話などが記された書物として親しまれています。

古事記は、無文字文化だった日本列島の民族が文字文化へと移行していく時代に、各地で伝えられていた神話を「明確な執筆方針のもとに編纂」して1つの物語として書かれたものと言われています。そして、今なお各地に神話を起源とする神社や史跡が残されています。私たちは、古事記が書かれた時代から連綿とつながる時間の中を生活しているのです。古事記の中には、そうした現代までつながる古代の世界観や物語、文字、音が残されています。

物語としての古事記

古事記は、登場人物の性格が突然変わったり、死んだ人物が何度も生き返ったりと科学的に考えれば「よくわからない」物語です。今回上演する「鳥の劇場」の舞台『古事記』では、そうした「よくわからない」部分も含めて、古事記を一つのテキスト（台本）としてとらえて舞台化を試みています。舞台『古事記』は、天地誕生から始まり、イザナキとイザナミによる国生み、アマテラスの孫の地上降臨までの神話部分が生演奏による音楽とともにダイナミックに描かれています。そうした演出を受け入れる懐の深さも、古事記の持つ魅力の一つです。

今につながる古代の物語を、神楽とはまた一味違った現代演劇の手法による舞台版でお楽しみください。



鳥の劇場って!?

NPO法人「鳥の劇場」は、2006年1月、演出家・中島諒人を中心に設立。鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった幼稚園・小学校を劇場施設へ手作りリノベーション。収容数200人の「劇場」と80人の“スタジオ”をもつ、劇団が運営する劇場。「創る」・「招く」・「いっしょにやる」・「試みる」・「考える」の5本柱で年間プログラムを構成し、全国、海外に開かれた創作の拠点を目指している。

廃校になった幼稚園・小学校を劇場施設へ



鳥の劇場（施設外観）



『古事記』(2014年)

Message

前回(2009年)は『剣を鍛える話』を宮崎の皆さんに観ていただきました。再び宮崎で上演できることをうれしく思います。今回の二作品は、宮崎との関連がとてとても濃厚です。鳥取と宮崎は、神話の地ということにつながっています。『古事記は歌ふ』の台本は永山智行さんです。主演俳優の中川玲奈は宮崎出身です。ひとつは「古事記」の神話部分を舞台化したもの、もうひとつは「古事記」をもとにした現代劇。二作品連続上演は、相当に重量級です。見応えたっぷりです。せっかくですから是非両方観てください。



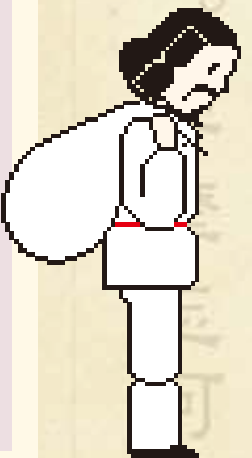
鳥の劇場芸術監督 中島諒人

1990年東京大学法学部卒。大学在学中より演劇活動を開始2003年利賀演出家コンクールで最優秀演出家賞受賞。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取に劇団の拠点を移し「鳥の劇場」をスタート。



中川玲奈 (出演者/宮崎出身)

鳥の劇場の子どもルームで、2歳の娘が「これ読んで～」と引っぱり出してきたのは『日本の神話 第一巻 くにはのほじまり』。明らかに対象年齢はもっと上だが、赤羽末吉さんのちょっと怖くて味のある絵に惹きつけられていっしょに読んでみた。イザナキが化け物に桃を投げつけるところで娘が大興奮。「えいっ、えいっ」と桃を投げる真似まではじまった。うん、確かに桃を投げつけるって、なんか面白い。『古事記』も一つの物語、先入観なしで楽しめばいいんだと気付かせてもらった。観に来てくださる方にもリラックスして楽しんでもらえる舞台を目指します。



712年(和銅5年)に完成したとされる日本最古の歴史書「古事記」。「因幡の白兎神話」など古事記とゆかりの深い鳥取県を拠点とする「鳥の劇場」が、この日本最古の書物を主題に、舞台版『古事記』と新作『古事記は歌ふ』の2作品を上演します。

『古事記』／『古事記は歌ふ』二作品上演

鳥の劇場にほんの「古事記」

『古事記は歌ふ』 作：永山智行 演出：中島諒人

「人」と「自然」

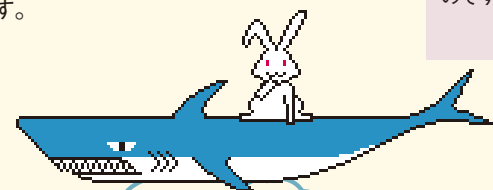
『古事記』とあわせて上演されるのは、宮崎県立芸術劇場の演劇ディレクターを務めている「劇団こふく劇場」の劇作家・永山智行による書下ろし新作『古事記は歌ふ』です。この作品では、古事記の物語を主要な構成要素にして、新たな現代劇を作り出しました。『古事記は歌ふ』でメインテーマとなっているのは、神ではなく「人」と「自然」です。古事記の中で人は、「青人草」という植物の姿を用いた表現で記されています。

「人」と「自然」と「物語」

『古事記は歌ふ』の主人公は巨大な自然災害で子どもを失い、書くことができなくなった女性作家です。彼女が何かに導かれるように出かけた旅に古事記の神話世界がだんだん入り込んでいきます。やがて女性作家は自身のつらい過去と再会し、それを受け入れ、物語を書くことと再び向きあっていきます。もうひとつこの作品で描かれるのは、千年前のある国の若い学者の姿です。同じように巨大な自然災害に見舞われたその国では、民族の再統合のために古代の物語を解読する試みがなされようとしているのです。

古代に生きた私たちの祖先は、神話という「物語」を生み出しました。古事記の中で神々は葦の芽のようなものから生まれ、オホゲツヒメノカミの体からは穀物の種が生まれています。「人」は、「自然」とともに生きていくために必要なすべてを認めていくなかで、「物語」を求め、生み出してきたのかもしれない。

「人」と「自然」の関わり合いのなかから「物語」が生まれ、「物語」をとおして「人」は「自然」を受け入れ、人間もまた「自然」の一部であることを認めていく。安らぎと恵みをもたらすだけではない自然を持つこの国で、「人」と「自然」と「物語」の関係は、古事記が書かれた時代から1300年を経た今も変わらずに続いています。



『古事記は歌ふ』(2014年)

Message

宮崎県は、古事記や日本書紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神話の舞台であり、多くの神話や伝承、それらにちなんだ伝統文化やゆかりの地が県内各地に残されています。

数々の神々が足跡を残す本県で、同じく古事記とゆかりの深い鳥取県を拠点に活動する「鳥の劇場」により、「古事記」と「古事記は歌ふ」の2演目が上演されることは大変意義深く、神話の舞台である本県で行われるからこそ感じられる悠久の物語、世界観もあるのではないのでしょうか。現代演劇により表現される「古事記の魅力」を是非、お楽しみください。

記紀編さん記念事業推進室



「物語」の物語。

わたしは都城の端の方に住んでいます。少年の頃。街灯もない時代。夜になると、深い闇があたりを包み、風が吹き、木々がうなる裏山は、まるでわたしの家を呑み込むようにそこにありました。その大きな自然を畏れ、けれどその自然と共に生きるため、人間は数千年前そこに「物語」を見つけたのではないかと思うのです。けれど、一方で「物語」は、人を死に追いやることさえあります。清潔で口あたりのいい、あるいは威勢のいい「物語」があふれる現代、もういちどこの宮崎で、「物語」の源泉に出会ってみてほしいのです。だってここは、宮崎は、人間の「物語」のふるさとのですから。

宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター 永山智行

公演情報

にほんの「古事記」 12月6日(土)・7日(日)

●『古事記』
開場13:30 開演14:00
【構成・演出】中島諒人(鳥の劇場芸術監督)

【会 場】イベントホール
【入場料】全席自由 一般 2,100円 [会員 1,900円]
学割(小学生～大学生) 1,000円

●『古事記は歌ふ』※6日のみアフタートークあり
開場17:30 開演18:00
【作】永山智行(劇団こふく劇場)
【演 出】中島諒人

●2演目セット券 3,600円 [会員:3,200円]

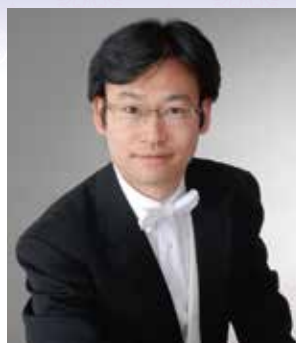
※セット券は、劇場のみの取扱いで、前売りのみの販売です。各演目お好きな日時をお選びください。

イタリア・バロックの魅力

～イタリア古典歌曲集のふるさとをたずねて～

当劇場オルガン事業アドバイザー大塚直哉さんによる企画・監修で、平成21年度から始まった「オルガンとその仲間たちシリーズ」では、毎回宮崎に縁のある演奏家を迎えお送りしています。

シリーズ第6回目となる今回のコンサートでは、オーディションで選ばれた歌手たちと共に、声楽家のバイブル「イタリア古典歌曲」を、作曲当時の形で古楽器のアンサンブルとともにお届けします！



大塚直哉（企画・監修・指揮・チェンバロ）

声楽を勉強する人がたいていはじめに課題として与えられるのは、「麗しのアマリリ」や「たとえつれなくとも」「すみれ」などのいわゆるイタリア古典歌曲です。これらは、17世紀から18世紀にかけてのイタリアのバロック時代の作品が19世紀になってピアノ伴奏のかたちに編曲されて以来、欧米でも、また日本でもベルカントの基本としてずっと歌い継がれてきたものです。考えてみると、17～18世紀のイタリアは、ヨーロッパ音楽にお

いて歌手がもっとも高い地位にあった時代と言われ、たくさんの優れた歌手たちがわざを競い合っていたのでした。どこかなつかしい、というようなまったりとした現代のイメージとは裏腹に、切ったら血がほとばしるような、切実で情熱的なこれらの作品の原曲を、リュートやチェンバロ、オルガンなど古楽器の調べとともにお届けしたいと思います。ぜひイタリア・バロックの薫りをお楽しみください。

オーディションによって選ばれた出演者の中から、お2人にコメントをいただきました。



出演者の練習風景（2014.10.19）

中屋敷真紀（ソプラノ）

宮崎大学卒業
宮崎在住

「僕、こんな音楽結構好き…」と、中学2年の息子。その時、車中に流れていたのは「バロック音楽」でした。Jポップを好んで聴く彼の心をも魅了した、温かく美しい響きに溢れたバロック音楽の世界を、今回は声楽でお届けいたします。多くの皆様に、その魅力を味わって頂けたら幸いです。

岩元徹（テノール）

宮崎大学卒業
都城市立祝吉中学校教諭

これまであまり演奏する機会がなかったイタリア古典歌曲と向き合う中で、その魅力に触れ音楽の幅を広げたいと思い、この演奏会にチャレンジしました。詩の解釈や演奏法など大変興味深くバロックの良さを再認識できました。共演いただく方々からの多くの学びを生かせる演奏ができるよう頑張りたいと思います。

公演情報 オルガンとその仲間たちシリーズ2014

イタリア・バロックの魅力

～イタリア古典歌曲集のふるさとをたずねて～

1月12日（月・祝）開場13:30 開演14:00

【出演者】大塚直哉（指揮・チェンバロ）

藤本いくよ*（ソプラノ）、櫻田亮（テノール）

伊藤純*（バス）、桐山建志（ヴァイオリン）

大西律子（ヴァイオリン）、稲田竜斗*（ヴィオラ）

西沢央子（チェロ）、佐藤亜紀子（リュート）

花岡聖子*（チェンバロ）、海老原麻衣（チェンバロ）

【オーディション選抜出演者】

ソプラノ：阿萬智衣*、阪元恵里*

中屋敷真紀*、中山美紀

アルト：前山依加*、山下未紗

テノール：岩元徹*

バス：青木海斗、谷本喜基

※出演者の横にある「*」は、
宮崎出身または在住の
演奏家

【会場】アイザックスターンホール

【入場料】全席指定

一般2,100円 [会員1,900円]

学割（小学生～大学生）1,000円

公開レッスン
ヴァイオリン
体験教室

公演前日1月11日（日）には、出演者を講師にむかえ、
公開レッスンやヴァイオリン体験教室を開催します。
詳細は劇場HPをご覧ください。http://www.miyazaki-ac.jp

リュート奏者佐藤亜紀子さんに、

古楽器「リュート」についてお聞きしました。

リュートはヨーロッパで中世からバロック時代にかけて王侯貴族や裕福な市民、音楽家によって演奏されました。アラブのウードという楽器がヨーロッパに伝えられリュートとなり、東洋に伝わったのが琵琶で、リュートと琵琶は遠い親戚です。

音は現代のギターと比べると小さいですが、音色は暖かく、丸みのあるやわらかな響きです。リュートは時を経ると、低い弦の数が増え、棹が長くなっていきます。

リュートとの出会いは西洋音楽史の勉強をしていた大学生の時。音色と形の美しさに惹かれました。当時の音楽を自分で演奏できることが楽しく、今までずっと弾き続けています。



リュート

Pick Up - CD

今秋リリースされる佐藤亜紀子さんの
英国ルネサンス期のリュート音楽を集
めたCDアルバム「Lullaby」! 優しい音
色と旋律に耳を傾けてみませんか! ?



Daichi Fujiki

藤木大地の Cantabile



藤木 大地

2012年、日本音楽コンクール第1位。カウンターテナーとして史上初の優勝者となり、話題となった。13年にボローニャ歌劇場にデビュー。14年にはNHKニューイヤーパーラコンサートに初出演し、さらにはウィーン国立歌劇場と2014/15シーズンの客演契約を結ぶなど、国際的な活動を展開する現在最も注目を集めるアーティストのひとりである。東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。新国立劇場にテノールとしてデビュー後、ボローニャ、ウィーンに留学。11年にカウンターテナーに転向。12年国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクール世界大会にてハンス・ガボア賞を受賞。宮崎市出身。ウィーン在住。

そうだカウンターテナーになろう、と思ったのが2010年。ちょうど4年前、ぼくは秋のロンドンを訪れた。カウンターテナーになるならイギリスだ、と思っていた。ウィーンのコーチから紹介されたロンドンのカウンターテナー歌手に、自分の中に見つけたばかりの声を聴いてもらった。おれの声、可能性ありますか？プロになれるかな？とは訊かなかった。そのころにはもう、なると決めていた。それからロンドンには何度も通い、声の技を磨いた。そのうち重要な場に招かれて日英国歌の斉唱もしたし、大切な街のひとつとなった。

ことし、そのロンドンでいくつかコンサートをした。この道、からたちの花、鐘が鳴ります、ちんちん千鳥、くちなし・・・日本人として日本の心を感じるメロディを、日本語で歌ってロンドンで紹介したかった。訳詞の紹介もトークもなしで、タイトルの英訳だけで日本の心と音楽を感じてもらいたかった。終演後、多くの聴衆が次々にぼくのところにきてくれた。彼らはぼくの手と目を離さずに、ありがとう、と言うのです。何曲目のあれは何て歌ってたの？日本語はわからなかったけど、心に届いたわ。そこでぼく

はようやく直に説明するのです。日本の原風景、郷愁、子どものころの思い出や失った家族を顧みる気持ち。

歌は言葉だ。どんなにいい声で歌われても、言葉のきこえない歌は響かない。日本で日本語の歌を歌う時と同じように、ぼくはロンドンで言葉を伝えようとして歌った。同時に彼らの言葉、英語の歌も、彼らに伝われ、と強く思いながら歌った。その結果が「ありがとう」だったとしたら、それ以上のご褒美はない。

ぼくは海外で日本人の姿形で歌うことに引け目を感じていない。声、言葉、音楽。どれもを真摯に磨き続ければ、世界のどこでも歌が伝わることを知っているから。



ぼくがカウンターテナーになるきっかけとなったふたり、マルコとアシュレイとの再会。ロンドン・聖ピーター教会でのコンサートで。

みやざきの舞台芸術シリーズ

今年度も、本県出身者による企画提案で、創意に富む2つのコンサートを開催します。
公演に先がけ、企画提案者からそれぞれコメントが届きました！



'14みやざきの舞台芸術シリーズⅠ

有吉亮治と時代を彩るスターたち

～原麻理子（ヴィオラ）・

三浦一馬（バンドネオン）を迎えて～

12月21日（日）開場14:30 開演15:00

アイザックスターンホール

企画提案者：有吉亮治（ピアノ）※宮崎市出身

2人の兄はヴァイオリンを習っていたが、僕は家にあった大きかったこいピアノを選び、その後知っている曲が弾けるようになるともっと楽しくなりました。その後音楽の道を志すため東京藝術大学に進学し、更にジュネーヴ音楽院で研鑽を深めました。

豊かな大地は人を育みます。僕も宮崎で生まれ育ち多くの恵みを楽しむことができました。大好きなこの地で、僕の信頼する音楽家とともに演奏する機会を頂けたこと大変感謝しています。今回の共演者、ヴィオラ奏者・原麻理子の魅力は繊細かつ大胆な音楽です。彼女とは7年来の演奏パートナーであり、今回のコンサート前半では亜麻色の髪乙女などの名曲を織り交ぜながら息の合った演奏を、後半ではテレビや雑誌でもおなじみバンドネオン奏者・三浦一馬を迎え、彼自身の編曲によるガーシュイン、ピアソラなど色彩豊かなパリエーションをお届けします。

音楽が大好きなお子様から、普段あまりクラシック音楽に馴染みのない方まで、たくさんの方々に聴いて頂けたら幸いです。



'14みやざきの舞台芸術シリーズⅡ

叙情と熱情

～ピアノトリオが誘うスペイン・ロシアへの旅～

2015年

1月18日（日）開場13:30 開演14:00

イベントホール

企画提案者：白濱櫻子（ヴァイオリン）※高鍋町出身、中学卒業まで三股町

私は中学卒業まで県内で育ち、高校から音楽の道に進むべく上京し、以来東京を中心に音楽活動を続けていますが、故郷宮崎にて演奏する機会がなかなか無い事に一抹の寂しさを感じていました。

そんな時、「みやざきの舞台芸術シリーズ」という県内出身者で芸術に携わる人達を応援してくれる素晴らしい企画がある事を教えて貰い、今回ピアノトリオで出演する機会を頂きましたことを本当に嬉しく思っています。

ピアノトリオは全く個性の違う3人がそれぞれの持ち味を際立たせつつも、しっかり寄り添いながら音楽を創りあげて行くもので、室内楽の中では華やかな雰囲気を感じられる編成だと思います。今回はロシアのチャイコフスキーと、日本ではあまり演奏される機会がありませんが、スペインのトゥリーナという2人の作曲家の作品を演奏します。故郷宮崎の皆様にお楽しみ頂けたら幸いです。

メディキット県民文化センター 自主事業公演チケット情報

(宮崎県立芸術劇場)

12月14日(日) 開場10:30 開演11:00 **チケット発売中**

アイザックスターンホール

パイプオルガン プロムナード・コンサート vol.145

0歳からのパイプオルガン

0歳からのパイプオルガン
(2012年12月)



「みんなどクリスマス★」

一足早くパイプオルガンの音色で
クリスマス気分を味わいませんか？

出演者：梅干野安未(オルガン)、間瀬田紗代(ソプラノ)、
伊豆謡子(司会・進行)

曲 目：みんなで歌おう♪「あわてん坊のサンタクロース」
クリスマスキャロル名曲集 ほか

入場料：全席自由
3歳以下無料 4歳以上500円
なかよしチケット(4歳以上2人1組)500円 ※前売りのみ

Attention (ご注意)

- ・記載情報は変更になる場合があります。・学割は、小学生～大学生が対象です。
- ・就学前のお子様の入場はご遠慮ください。(0歳からのパイプオルガンを除く)
- ・当日券が出る場合は、500円増し(学割を除く)になります。

12月6日(土)・7日(日)

イベントホール

鳥の劇場
にほんの「古事記」

詳細はP3~4

チケット発売中

開場13:30 開演14:00

「古事記」
全席自由 入場料：一般2,100円(会員1,900円) 学割1,000円

開場17:30 開演18:00

「古事記は歌心」
全席自由 入場料：一般2,100円(会員1,900円) 学割1,000円

2公演
セット券
3,600円
(会員3,200円)
※前売りのみ

12月21日(日)

開場14:30 開演15:00

アイザック
スターンホール

「14みやぎの舞台芸術シリーズI

有吉亮治と時代を彩るスターたち

～原麻理子(ヴィオラ)・三浦一馬(バンドネオン)を迎えて～

全席自由 入場料：一般2,100円(会員1,900円) 学割1,000円

チケット発売中

12月23日(火・祝)

開場13:30 開演14:00

イベントホール

きりく・ハンドベルアンサンブル

全席自由 入場料：一般3,100円(会員2,800円) 学割1,500円

親子割3,700円(小・中学生と保護者2人1組)

※前売りのみ

チケット発売中

詳細はP1~2

1月12日(月・祝)

開場13:30 開演14:00

アイザック
スターンホール

オルガンとその仲間たちシリーズ2014

イタリア・バロックの魅力

～イタリア古典歌曲集のふるさとをたずねて～

全席指定 入場料：一般2,100円(会員1,900円) 学割1,000円

チケット発売中

詳細はP5

1月18日(日)

開場13:30 開演14:00

イベントホール

「14みやぎの舞台芸術シリーズII

叙情と熱情 ～ピアトリオが誘うスペイン・ロシアへの旅～

全席自由 入場料：一般2,100円(会員1,900円) 学割1,000円

チケット発売中

1月25日(日)

開場13:30 開演14:00

アイザック
スターンホール

Premium Select Concert #4

チェロを聴く ～巨匠のデュオ～

全席指定 入場料：一般3,100円(会員2,800円) 学割1,500円

チケット発売中

©Riccardo Musacchio and Flavio Ianniello



テレビ宮崎 開局45周年記念

ローマ・サンタ・チェチーリア 国立管弦楽団



アントニオ・パッパーノ
(指揮)

©Riccardo Musacchio and Flavio Ianniello

諏訪内晶子
(ヴァイオリン)

©Kiyotaka Saito

ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団 音楽監督

アントニオ・パッパーノ(指揮)

オーケストラ一同、日本に帰るのを心待ちにしています——もう三度目となりました。

今年のはりハルト・シュトラウス生誕150年とあって、シュトラウスの代表作である「アルプス交響曲」を取り上げずにはいられませんでした。イタリアもアルプスの麓にあるのですから！

ヴァイオリン協奏曲では、諏訪内晶子さんとの協演に皆胸を躍らせています。私がローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団および同合唱団の音楽監督に就任してからもう10年近いと思いますが、この間のレパートリーの拡大には目を見張るばかりです。今回のツアーのプログラムで、その成長の一端をお聴きいただきたく思います。

Antonio Pappano

公演情報 UMKテレビ宮崎 開局45周年記念

ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団

11月9日(日) 開場13:15 開場14:00

全席指定

【会 場】アイザックスターンホール

【出演者】アントニオ・パッパーノ(指揮)

諏訪内晶子(ヴァイオリン)

ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団(管弦楽)

【曲 目】ロッシーニ：歌劇「セヴィーリヤの理髪師」より序曲

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調

R.シュトラウス：アルプス交響曲 作品64

SS席12,900円(会員11,600円) S 席 9,800円(会員8,800円)

A 席 7,700円(会員6,900円) B 席 5,700円(会員5,100円)

C 席 3,100円(会員2,800円) D 席 2,000円(会員1,800円)

学 割 1,500円 ※C席のみ 高校生会員1,000円 ※C・D席のみ

お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

twitterとfacebook 随時更新中! 「フォロー」と「いいね!」をお待ちしています。